

第12回

地下壕保存の会 公開講座のお知らせ

日本の戦争遺跡の調査研究と保存運動

——神奈川県を地下壕を中心に——

戦争遺跡を保存する動きは、およそ30年前から日本各地で盛んになりました。今回は戦争遺跡保存全国ネットワークの共同代表として、発足以来先頭に立って活動してこられた十菱駿武氏を講師に迎え、保存運動についてお話しいたします。

講師 **十菱 駿武** 氏

山梨学院大学法学部政治行政学科客員教授

日時 **2018年4月14日(土) 午後1時～3時**

演題 日本の戦争遺跡の調査研究と保存運動
——神奈川県を地下壕を中心に——

会場 慶應義塾日吉キャンパス 来往舎シンポジウムスペース

主催 日吉台地下壕保存の会

※参加費無料、事前予約不要、どなたでもご参加できます。

※この講座は「港北区地域のチカラ応援事業」の補助を受けています。

※問い合わせ先：亀岡 (Tel 045-561-2758)

講師プロフィール：

1945年生まれ。早稲田大学大学院文学研究科史学専攻博士課程修了。専門は考古学、文化財学。東京都と山梨県の遺跡調査や審議会に関わる。戦争遺跡保存全国ネットワーク発起人の一人で、発会以来共同代表を務める。主な著書に、『日本史のエッセンス』（有斐閣）、『しらべる戦争遺跡の事典』『続しらべる戦争遺跡の事典』（柏書房）他、多数。

